



とちぎマイスター「建設機械整備（建設機械整備作業）」の技能の例

建設機械の品質向上と技能の伝承

とり や べ かつ まさ

鳥谷部 勝正

(株)小松製作所 小山工場（総務部総務グループ TEL 0285-28-8110）

「教える」より「理解してもらう」ことが重要

（現在の仕事）

エンジンの組立て、整備及び塗装と建設機械整備業務全般で培った技能を生かし、社内教育機関である「コマツ工専」において若手社員の教育訓練に携わっている。

（得意な分野）

ディーゼルエンジンの知識及び整備技能には絶対的な自信を持っている。

現在は、建機の故障の原因解明や修復、改善方法等について若手社員へ指導を行うなど、社内における人材育成活動に大きく貢献している。

基本は忠実に 発想は柔軟かつ斬新に

技能の向上には日ごろの地道な積み重ねが最も大事であり、特に、いわゆる「カン・コツ」等の五体、五感のすべてをフル活用して習得しなければならない技能については、機械の性能がどんなに向上してもその重要性は変わらないと思う。

これらのことと踏まえ、「相手に理解してもらえることが一番大切である」ことを常に心がけ若手社員への教育訓練を行っている。

若い人達には、知識を知恵に変えることができる柔軟な発想ができる技能者を目指して、技能の研さんに励んでもらいたい。

